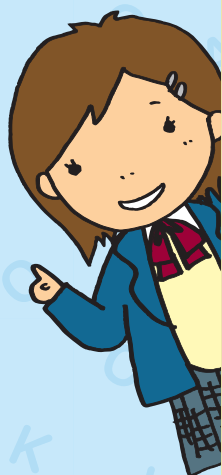


# このお か ねの 作 文 か ね



金融広報中央委員会は全国の中学生を対象に

「おかねの作文」を募集しています。

みなさんの見たこと、聞いたこと、感じたことをもとに

「おかね」について考えてみよう。

## 特選5編

(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 /

日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞 /

金融広報中央委員会会長賞

## 秀作5編

(賞状と図書カード2万円分)

佳作10編 (賞状と図書カード3千円分)

学校賞(特選受賞者在籍校)5校 (賞状と図書カード1万円分)

9月20日  
しめきり!!  
消印有効



テーマ（作文に書く内容）は、「おかね」に関するものであれば、どのようなものでも構いません。

テーマを考えたときの参考として、以下に例を示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を自由に考えてみてください。

テーマを決めた後、作文の内容にふさわしいタイトル（題）をつけてください。

#### ◆テーマの例

### 1. 将来の夢の実現とおかねの関わり

あなたの将来の夢は何ですか。やってみたい仕事はありますか。あなたが思い描く未来を実現するために、どのようなことを心がけ、準備をしていったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おかねとの関わり方を含めてまとめてみましょう。

### 3. 活きたおかねの使い方とは

おかねの使い方は、その人の価値観や考え方を表すとともに、多少なりとも世の中に影響を与えます。買い物や貯金などについての自分自身の体験や、周囲の人のおかねの上手な使い方について書いてみましょう。

### 2. 私のおかねのルールやわが家の約束事

あなた自身やあなたの家族で決めているおかねについてのルールはありますか。商品を買うときに心がけていること、携帯電話の使い方、お小遣いのルールなど、消費者として行動の基準としている点はどのようなことですか。2022年4月に成年年齢が18歳に引き下げられることも踏まえながら、整理してみましょう。

### 4. ニュースにみるおかね

新聞やテレビ等で報道された、おかねが関わるニュースを取り上げて、あなたが思うことを書いてみましょう。身近な地域、中学校、社会や文化、海外や世界が関係するさまざまなニュースの中で、関心を持ったニュースを探してみましょう。

## 第54回「おかねの作文」コンクール 募集要項

[応募資格] 中学生

[賞] ●特選 5編(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と図書カード2万円分)

●佳作 10編(賞状と図書カード3千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2021年9月20日(月)※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「おかねの作文」コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2021.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2021.jp/>



## 作文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」という4つの分野に分けられ、「生きる力」の育成にもつながります。作文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、身の回りのお金や自分の将来に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。

金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

# あなたは、お金やモノを大切にしていますか？

私たちの回りには、たくさんのモノやサービス、情報があふれています。「豊かな社会」の中で、本当に必要なものを選択し、使っていくことが大切です。お金の使い方もそうです。適切な判断と行動ができる消費者になるためには、将来を見越して計画的にお金と付き合えるようにならなければなりません。金融広報中央委員会が募集した「おかねの作文」コンクール、昨年は全国から1,723点の作品が寄せられ、40点が入賞作品に選ばれました。これらの作品も参考にしながら、自分の回りで「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、自分自身の意見をまとめてみましょう。



第53回  
(2020)

## 受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

[https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours\\_sakubun/](https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_sakubun/)



### 金融担当大臣賞

ぶたの貯金箱の使い道

神奈川県 洗足学園中学校 3年  
隠岐 知夏さん

**作品の内容** 自分の部屋にあふれるモノの「断捨離」を行い、3つのゴミ袋に詰まった大量のペンや本をみて反省する筆者。「いい勉強になったね」と微笑む母の顔を見て、ゴミ袋からぶたの貯金箱を机に戻します。以来、浪費をやめ、母へのプレゼント等のため貯金している筆者は、将来、自分や周りが幸せになれるお金の使い方をしたいと結びます。「小さな失敗から活きた金銭感覚を身につけていく教育がビビッドに描かれている」と評されました。

**受賞者の声** 私はこの作文を通して、改めて中学生の自分自身とお金の関りの多さに気づき、「お金の使い方」について考えることの大切さを感じることができました。これからは断捨離といった大きな経験からだけでなく、日頃の小さな経験からもお金の使い方についてしっかりと考えていきたいです。

### 文部科学大臣賞

心に栄養を

宮崎県 宮崎市立加納中学校 2年  
瀬戸口 麗さん

**作品の内容** 母の知り合いの花火屋が、地元を元気づけようとして花火大会を企画していることを知った筆者。共感した人達が、応援する気持ちを寄付という形にして参加できる「クラウドファンディング」に興味を持ちます。お小遣いを使って母と一緒に寄付した筆者は、「応援する気持ちのおすそ分け」という心の満足感が得られる活きたお金の使い方を知ったと結びます。「寄付を通じて皆が幸福になるお金の使い方に着目した点」が評価されました。

**受賞者の声** 私はこの作文を通して、人から人へ幸せを届けることができることを知りました。お金の価値観はそれぞれですが、少しでも他の誰かの心を晴れやかにできるようなお金の使い方をこれからもしていきたいなと思います。

### 日本銀行総裁賞

ゲーム内課金とお金の使い方

東京都 渋谷教育学園渋谷中学校 3年  
横山 美貴さん

**作品の内容** ゲーム内課金をねだる弟に対し、ゲーム内課金やお金の使い方を心配する母。スマホで音楽や読書を楽しんでいる筆者は、両者の議論を隣で聞きながら、仮想でのお金の使い方も現実と同等に尊重されるべきと考えます。結局、わずかな課金を許されますが…。お金の向き合い方には正解がないからこそ、家族で話し合い、お金に関する経験を増やすことが大切だと結びます。「現代的なテーマを掘り下げ、よくまとめている」と評されました。

**受賞者の声** ゲーム課金について家族で話し合う中で、お金を使う難しさを実感しました。その後ゲーム課金に関する報道で、作文を書いた時とは自分の考えも変化しています。価値観が変化する時代の中で、これからも柔軟に、また慎重にお金について学んでいきたいです。

### 日本PTA全国協議会会長賞

社会との繋がりであるお金

滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校 2年  
坂井 悠希子さん

**作品の内容** 「お金が欲しい」が口癖の筆者。なぜお金が欲しいのか思いを巡らせ、誰とでも交換できるお金の存在意義は社会とつながることだと気付きます。コロナ禍による経済への影響にも目を向け、お金は貯めているだけでは逆に貧しくなると学んだ筆者は、お金を使うことは自分の意思を社会に伝えることであり、お金を「どう使うか」を重視した教育をすべきと結びます。「コロナ禍で学んだことを書いた今年ならではの作品」と評されました。

**受賞者の声** 小学1年生だった私に母が長財布とお小遣いの500円をくれたことが私のお金との関りの始まりでした。中学生になり、金額は大きくなり電子マネーも使うようになりましたが、お金を使うことを通じて私なりに社会につながることを続けていきたいです。

### 金融広報中央委員会会長賞

値段では決められない価値

大分県 向陽中学校 2年  
陣内 結鈴さん

**作品の内容** 毎週末、祖父から手渡された500円玉を持って、一緒に散歩しお菓子を買うのが好きだった筆者。恥ずかしさから、一緒に散歩に行くことが減っても、500円玉をもらっていました。「おじいちゃんからもらったお金は大切にしない」と母に注意されても、ゲーム代などに使っていた筆者は、祖父の他界後、自分の名前が書かれた貯金箱を見つけ、500円玉にこめられた思いに気付きます。「心温まるエピソードにひかれた」と評されました。

**受賞者の声** この作文は祖父との大切な体験を思い出した時に書くことに決めました。この作文を通して、お金にも思いを込めることができ、その価値は値段以上のものに成りうるということに気づかされました。これから私は何円であっても大切にお金を使っていきたいです。

### 秀作

僕の買い物リストの上位はこれ  
埼玉県 立教新座中学校 1年  
佐々木 一翔さん

お金に隠された気持ち  
福岡県 福岡市立東住吉中学校 1年  
神宮 あいさん

時間とお金の使い方  
栃木県 下野市立南河内第二中学校 2年  
谷田貝 美桜さん

「おかね」についての悩み  
東京都 学習院女子中等科 3年  
細井 茉凜さん

お金のかたち  
岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 3年  
野島 麻央さん

### 学校賞

東京都 渋谷教育学園渋谷中学校  
神奈川県 洗足学園中学校  
滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校  
大分県 向陽中学校  
宮崎県 宮崎市立加納中学校

第53回  
審査員  
(敬称略)

塚本 俊太郎(金融庁総合政策局総合政策課課長補佐)  
清水 敬介(公益社団法人日本PTA全国協議会会長)  
大澤 裕次(日本銀行情報サービス局金融広報課長)

長尾 篤志(文部科学省初等中等教育局主任視学官)  
勝田 敏行(全日本中学校国語教育研究協議会会長)  
小泉 達哉(金融広報中央委員会事務局次長)



